



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)AOKI本社増築計画	階数	地上4F、PH1
建設地	横浜市都筑区葛が谷6-56	構造	S造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2018年11月 竣工	評価の実施日	2017年11月2日
敷地面積	1,821 m <sup>2</sup>	作成者	清水建設
建築面積	909 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月2日
延床面積	2,696 m <sup>2</sup>	確認者	清水建設



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 既存建物を生かしながら、周辺の景観、交通に十分配慮した事務所の増築計画となっている。	<b>その他</b> 増築に伴い、既存の建物の耐震改修を行い、安全に既存建物を継続使用できる計画としている。
<b>Q1 室内環境</b> 遮音性能の高い開口部や、吸音性のある材料の採用、空調等空気環境にも配慮し、室内環境の向上を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 低階高ながら、天井高を2800確保し、ゆったりした執務空間を計画している。間仕切りを極力なくし、将来のレイアウト変更に対応可能な計画となっている。
<b>LR1 エネルギー</b> 主要なPC版カーテンウォールにはLow-eガラスを採用し、彫りの深い外装とすることで熱負荷の低減を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型設備機器の採用、リサイクル材の採用等、資源を節約・再資源の活用に対応した計画としている。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 既存の緑化をできるだけ残した外構計画としている。接道部に緑化を多くとり、景観上も配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 荷捌駐車、駐輪場の確保等周辺の交通状況、安全性に十分配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

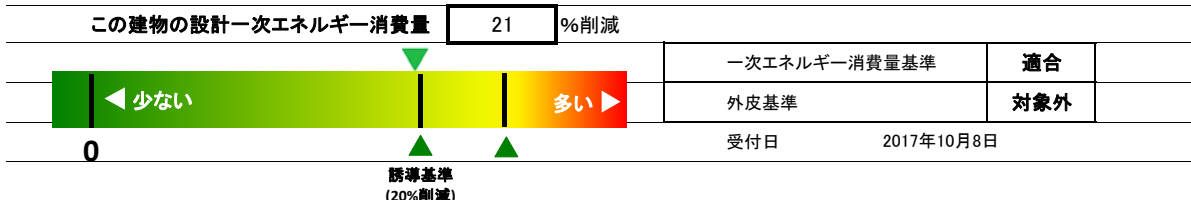


### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)AOKI本社増築計画

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①主要なPC版カーテンウォールにはLow-eガラスを採用し、彫りの深い外装とする。
- ③高効率LED照明器具や全熱交換機の採用によるエネルギー効率の向上。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑩彫りの深い外装+ブラインドを設置、照度500lx以上で計画
- ⑪使用する建材はF☆☆☆☆製品/空気入れ口は汚染源のない向きにある/喫煙スペースはなし

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫天井高2800のゆったりした執務空間、業務、組織の変化に対応可能なレイアウト計画
- ⑬全体を俯瞰できる壁のない広がりのある執務空間、商品開発を軸とした業務の流れを加味した執務空間の配置

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰PC版50年対応/床、壁、天井:システム天井 20年以上の更新間隔/ダクト等にステンレスやガルバリウム

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑱既存の緑地をできるだけ生かした緑地計画とする。
- ⑲港北ニュータウンに地区の景観ガイドラインに沿った適切な外観計画とし、周囲と調和した良好な街並みを形成

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	
エネルギーマネジメントシステム導入	
_____	